

令和5年度 第4回 中ノ町小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月21日（水） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 中ノ町小学校 会議室1
- 3 出席委員 堀内 秀哲、齋藤 誠、佐藤 公治、瀧 幸仁、鈴木 景子、岡安 智代、
猿田 彩、鈴木 巧、大井 啓吾
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 西澤 幸次朗
- 6 学 校 河合 享子（校長）、泉澤 優光（教頭）、横山 和美（CS担当教員）
飛永百合子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 9 協議事項
（1）本年度の学校評価
（2）来年度の学校運営基本方針
（3）学校運営協議会の自己評価
- 10 会議録作成者 CSディレクター 飛永百合子
- 11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人全員の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

司会が、議長の選出について意見を求めたところ、会長の齋藤委員より立候補があり、全員異議なくこれを承認した。

（1）本年度の学校評価

議長の指示により横山教諭から、資料に基づき本年度の学校評価について説明があった。

改善点を中心に説明する。主体的に粘り強く学ぶ力を育てるために個別面談（全員）を1回から2回に増やす。自主的な学習にも力を入れる。毎週火曜日は「自分みがきタイム」とし、児童が内容を決め保護者が見届けをする。現在「いきいきプロジェクト」が進化している。子供たちのよい行動をほめて認める「ポジティブな行動支援」を進めていく。安全について、保健委員会の発案で校内の危険個所の表示をした。地域の安全については、地域主催の交通安全教室を企画していただけないか。第2回のこの会で話題になった読書については、読書好きの子を増やすために、朝の読書活動をする。

生徒指導担当の大石教諭から以下のような説明があった。

いじめの件数は今年度現時点で51件、昨年度は45件だが、市内全体で積極的に認知するようにしているため増えた件数となっている。ひやかし等がほとんどで、時々叩いてしまったケースやスマホのトラブルがある。低学年でも動画を見ているケースがあるので、情報モラル講座の対象を高学年から全学年に広げる。

各委員からは以下のような意見があった。

- ・平和な学校なので小さな問題を拾ってもらえる。いい循環になっている。(景子委員)
- ・廊下の掲示がとて面白い。危ないのがよくわかる。(岡安委員)
- ・「ぶつかる」表示がわかりやすい。決まった宿題がない日ができるのはとて面白い。ほめることも見つける余裕ができる。(猿田委員)
- ・学習発表会は子供が力を付けたのがよくわかった。どの学年もよくできていた。(大井委員)
- ・児童と先生の信頼関係ができています。先生に相談できる安心感があるのでは。ほめことばのシャワーとあるが、今度はダメなところはしかることも必要ではないか。保護者の評価は低いですが、先生が子供の素晴らしいことを説明して、三者の評価が同じになるといい。5年生の学習発表会でSDGSを取り上げていた。男女差別について児童が「感じる」と言ったが、具体例は言えなかった。大人も含めて、自分なりに考えることが必要ではないか。(巧委員)
- ・中ノ町はいいところが多い。より学校・地域・家庭で見守り、取り組みをしていきたい。(斎藤委員)

(2) 来年度の学校運営の基本方針

議長の指示により校長から、資料に基づき来年度の学校運営基本方針について、説明があった。

先日の学習発表会は、主体性を育てていることに合った活動ができた。令和6年度の学校教育目標、目指す学校、教育の重点（キャリア教育の推進、一人一人に応じた支援、コミュニティスクールの推進）を説明する。主体性を育てるため、一斉の宿題はない日（家庭学習の日）を設ける。ポジティブ行動支援も引き続き行う。今日は概要のみの説明になる。

各委員からは以下のような意見があった。

- ・コミュニティスクールはまだもっとやりたい。もっと充実させていきたい。学校支援コーディネーターとしては、まだ学校の意見すりあわせが十分できていない。委員の方とも共有ができてない。(堀内委員)
- ・委員と教職員の交流については夏の研修で検討する。(教頭)

(3) 学校運営協議会の自己評価

①学校運営の基本方針について熟議することができたか

- ・学校運営の基本方針に沿って丁寧に運営されていることがわかった。(巧委員)
- ・個々の目標に対しても充実している。児童と保護者と教職員の評価の差がなくなるといい。(佐藤委員)
- ・学校・地域・家庭の役割、つながることの大切さが協議できて良かった。(瀧委員)

②承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか

- ・様々な立場から意見が出たが、具体的な学校支援活動に結びつけるのには、まだ時間が足りなかった。(大井委員)
- ・この会議内容が活動の充実につながったかという点はまだ不十分。(猿田委員)
- ・子供が頑張っていることを知らせてもらえたことが良かった。具体的な話し合いができた。来年は解決の場にしていけるといい。(岡安委員)

③協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか

- ・主任児童委員の立場で参加しているので課題をかかえた子供の支援をしているが、地域にそのような子供がいることを紹介できた。また、学校全体のことを考える機会をいただいた。(景子委員)
- ・ボランティアについては、昨年2回、今年1回たよりに作成し発信しているが、協議会については保護者や地域の方への情報発信が十分ではない。(堀内委員)
- ・学校経営書は自治会の会合で配布・説明をしている。(斎藤委員)

④今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・2年目でもあり、どの会もいい熟議ができてきた。引き続き学校を支援していきたい。(斎藤委員)
- ・学校運営協議会で話し合われたことをPTA総会で紹介するといいい。(景子委員)

(4) その他

- ・「こども見守り隊(下校時の旗振りボランティア)」は平成25年に当時自治会役員を降りた30人で結成された。高齢化が進み、今回新しい方と交代することとなった。(斎藤委員)
- ・「地域見守りボランティアのお願い」を地域に回覧し、散歩や買い物のついでに子供を見守っていただく。(斎藤委員)

その他報告事項等

教頭より、「夢をはぐくむ協議会」コミュニティスクール加算金6万円の使途について説明があった。外部講師・ボランティアへの謝礼、キャリア教育の4つの力を象徴したファイルが挙げられた。